

ISO14001 認証取得の支援への取り組み

財団法人大阪科学技術センター
ATAC 会員 久保田 達之

環境問題への関心は年々高まり、環境政策や法規制などがますます厳しくなっています。いま、多くの企業では ISO14001(EMS) への取り組みが経営の重要課題の一つになっています。

ATAC では、企業が ISO14001(EMS) の認証取得によりコストの合理化や企業活動の効率化を実現し、経営革新や体質改善に結びつけることを目標に支援活動をしています。

これまで ATAC が ISO14001 認証取得の支援をした多くの中小企業は製造業が主体で、そのニーズもさまざまです。ATAC は一貫して下記の手順で認証取得の支援をしてきました。

1. まず ISO14001 認証取得の前提条件として順法な環境管理体制の基盤を構築します。多数の環境関連法規のうち、自社に関連する環境規制項目の順法を確認し、必要に応じ対策を実施します。

2. 次にその順法な基盤の上に、自社の自主的な環境方針・目的・目標を明示し、これらを踏まえて ISO14001 に基づく EMS (環境マネジメントシステム) を構築します。EMS の文書化(マニュアル、手順、基準)は、業種・規模・環境側面の難易度に応じ、簡潔で利用に便利なスタイルにします。

3. EMS の中に自社の明確な目的、目標にもとづく環境実施計画を作成します。

4. 自社の EMS の浸透や環境実施計画の実行にあたり、環境改善の意識改革の全社員教育を実施するとともに、環境マニュアル、手順書に基づく作業を実施します。

5. これらの EMS や環境実施計画の実施状況を自社の内部環境監査員が監査し、トップ^oに報告します。ATAC は内部環境監査員の養成教育も同時に実施しています。

6. これらの EMS や環境実施計画の実施でもっとも重要なことは「自主的な EMS の継続的改善を図

ること」です。内部環境監査結果報告やその他の情報を総合して、トップ^oは自社の EMS の継続的改善を図るため定期的に「トップレビュー」を行い、その結果から修正・改定し、EMS の継続的改善をはかります。

7. これら一連のプロセスの中で、環境対策は費用ばかりかかり、経営の重荷になると嘆く経営者もありますが、可能な限り経費のかからない EMS の構築を推奨し、そして最終的にはコストの合理化や経営の効率化、そして体質改善への推進を支援しています。

ATAC の ISO14001 認証取得の支援の特徴は、「貴社で悩んでいる課題」を ISO14001 (EMS) の構築に取り込み、環境問題は勿論、経営体質を革新することです。具体的には、

① ATAC の現場・現物主義、豊富な経験を生かし、環境保全面の検討は勿論、品質・コストダウン・納期・開発等の多面的・総合的な検討を行い、効果的・効率的な ISO14001 EMS を構築します。

②課題の解決の道筋を、環境対策、省エネ・省資源・コストダウン別に絞り込み、「環境実施計画」に明示・実行します。

③トップから末端従業員まで全員参加で全力投入できるようにします。ISO 的な目標管理に基づく、企業体質改善のスパイラルアップ、技術力アップを図ります。

これまで大企業中心に CO₂ 排出削減が実施され、中小企業には法規制はありませんでした。しかし、今春省エネ法が改正され、中小企業も規制対象となり、具体的規制内容も年内に明示される動きです。

今後、ATAC は ISO14001 認証取得の支援で「CO₂ に対する関心の高揚」「省 CO₂ 対策の拡大」に中小企業とともに努力をして行く所存です。